

施策評価管理シート

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	5	快適な生活環境づくり	担当部局名	部局長名
	施策	2	道路整備	都市整備部	谷本 浩司

1. 施策の基本方針 Plan

- 今後の人口減少や高齢化の進展など、多様化する道路交通需要に的確に対応するため、ユニバーサルデザインを基本とした計画など、道路空間の質の向上を進めます。
- 幹線道路のネットワーク化による代替機能の向上と広域道路網の整備を進めます。
- 地域のまちづくりの取組と連携した維持管理や事業の選定を進めるとともに、事業効果の検証を行いながら生活道路の整備を進めます。

2. 現状と課題 Plan

- 事業期間の長期化が顕著になっていることから、必要な財源の確保と事業効果に配慮した整備区間の選定が課題になっています。
- 市民生活に密着した生活道路の整備については、より効率的な整備を進める観点から、抜本的な整備に加え、既存道路用地の有効活用による局部改良や、柔軟な整備手法を織り交ぜていく必要があります。

○施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合（％）	目標	-	-	-	50.0	
	成果	42.1	49.0			87.3%
計画済6路線のうち整備を完了した道路の供用率（％）	目標	-	-	-	97.0	
	成果	17.0	22.9			7.4%
地域づくり組織等が主体となって、道路等の維持管理に携わっている箇所数（件）	目標	-	-	-	60	
	成果	57	62			100.0%

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
・ 広域幹線道路整備事業主体である三重県に対し、引き続き早期実現に向け要望していきます。 ・ 柔軟な整備手法への見直しも行き、引き続き社会資本整備総合交付金を活用し早期整備を目指します。 ・ 防災・安全交付金を活用し、危険度の高い通学路を先行整備するとともに、誰もが安心して歩行できるバリアフリー化の整備を行います。	・ 三重県に対し、継続して事業の推進を要望しており、国道368号については、上長瀬工区の拡幅事業及び伊賀名張工区の4車線化事業について引き続き事業を実施しています。 ・ 社会資本整備総合交付金を活用して計画路線の整備を実施し、平成28年度には1路線の整備が完了しました。 ・ 防災・安全交付金を活用し、危険度の高い通学路について、歩道整備や舗装工事を実施しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金を活用して整備を実施していますが、事業期間が長期化していることから、財源の確保、整備手法の見直しや、より効果の現れる整備事業を検討していく必要があります。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） Action

社会資本整備総合交付金等について、道路財政法の期限が平成29年度までとなっていることから、平成30年度以降も現行制度が継続されるように加盟している同盟会等を通じて国に強力に要望し、財源の確保を図るとともに、県に対しても引き続き事業推進を要望していきます。

また、限られた予算の中で確実に効果を得るため、事業の実施方法や優先度を検討していきます。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

368号線の4車線化は、渋滞解消のみならず、雇用、産業などに大きく寄与することから、早期の完成に向けて取り組むこと。

また、危険度の高い通学路等の整備については、事業の実施方法や優先度を検討しながら効果的な事業の推進に努めること。